

～「受験形態」について(後半)～

前回の続きです

高校受験を行う際に、大きく分けて3つの受験形態(タイプ)があります。前回は「専願」について簡単に紹介しました。残り2つについても紹介します。

②公立高校も私立高校も“両方”受験する「併願タイプ」

公立高校と私立高校を両方受験することを「併願」といいます。公立高校を志望する人でも、公立との併願を認めている私立高校を受験することができます。この場合、私立高校に合格しても、公立高校を受験することになります。その後、公立高校に合格すれば、公立高校へ入学することになりますが、もし不合格の場合は、私立高校へ入学することになります。つまり、私立高校への入学も可能性があるため、「公立の〇〇高校へ行きたいから、私立高校は何でもいいや。」と適当に決めてしまうのは絶対にやめましょう。合格不合格は、発表のその時にないとわかりません。どんな結果になったとしても、それらを受け入れ、前に進んでいく覚悟を持てるように、一つひとつの決定をしっかりと自分でしていきましょう。

③公立高校“だけ”を受験する「単願タイプ」

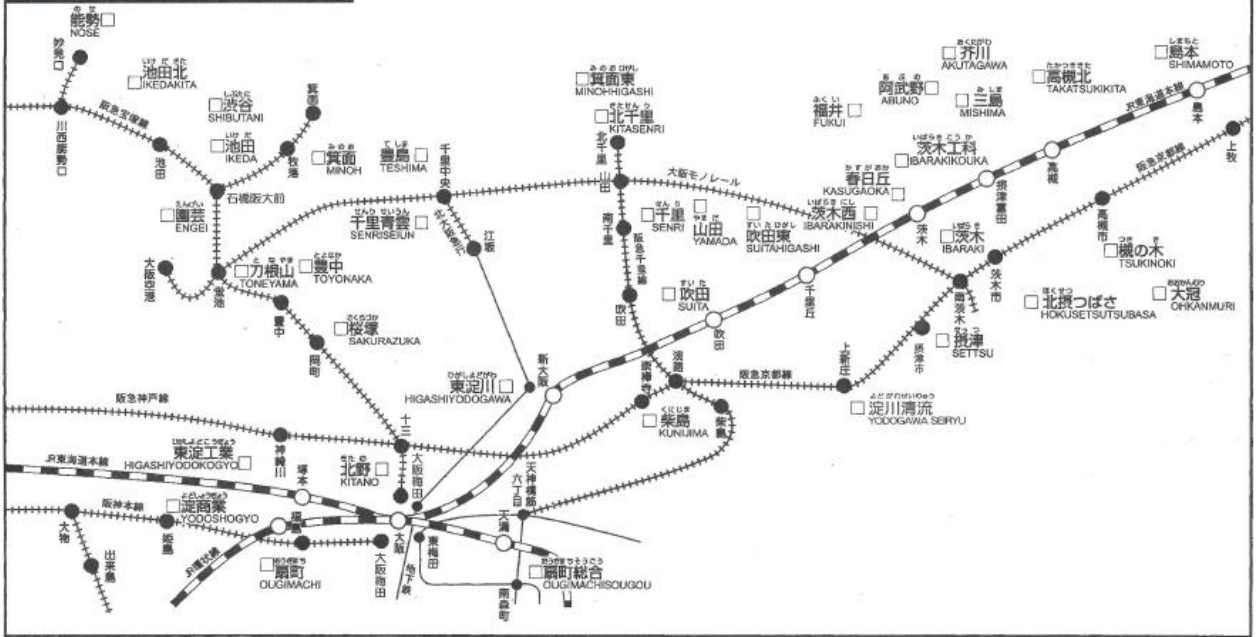
公立高校だけを受験し、私立高校を受験しないことを「単願」といいます。様々な諸事情で私立高校を受験しないと選択し、公立高校だけを受験することも可能です。しかし、公立高校の倍率等、予測できない部分が多く、学校による合格予想が難しい部分があります。そのため、あまりお勧めしません。(もし不合格の場合、公立二次募集や私立二次募集などを探し出し、受験していく流れとなりますが、行きたい高校の二次募集が必ずあるとも限りません。)

専願・併願の区別をしっかりと保護者や担任と相談し、決めていきましょう。出願後の変更は絶対にできないので、注意が必要です。



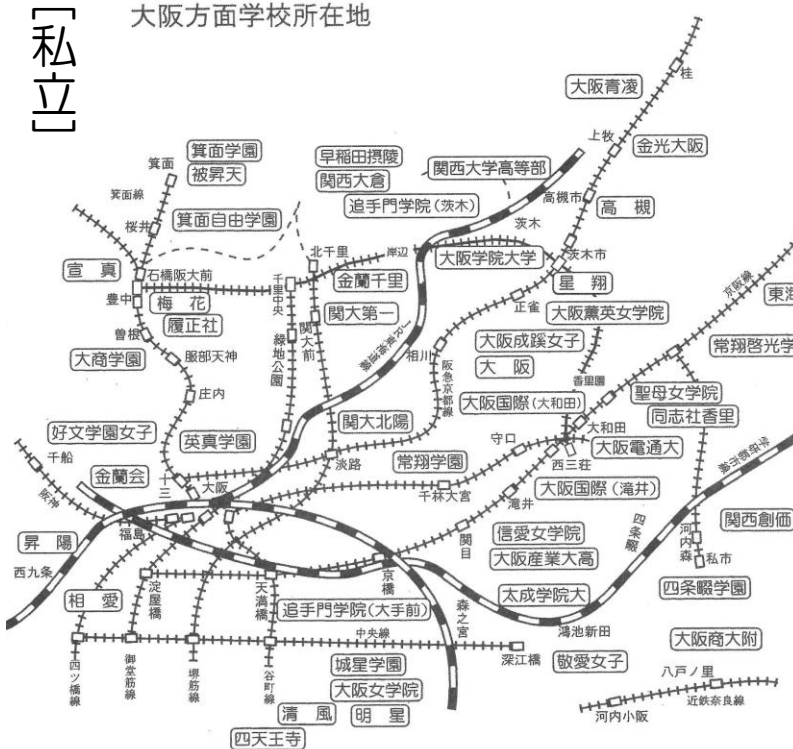
下記に、近くの公立・私立高校を路線図付きで紹介します。実際に入学し、「どのような通学路で通うのか」ということも想像しながら受験する高校を検討してみましょう。

近くの公立高校



私立

大阪方面学校所在地



私立

京都方面学校所在地

